


2月の協会行事カレンダー FEBRUARY

日	曜	行事	参加者	場所
1	木			
2	金			
3	土			
4	日			
5	月	中高部会 理事長会議	各校理事長・事務局	倉吉
6	火			
7	水			
8	木	中国地区私立幼稚園協議会理事會・総会及び全日私幼連PTA中国地区協議会委員総会 法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会鳥取職業能力開発促進センター米子訓練センター一部会	団团长・理事・事務局 専各部長	山口 米子
9	金	全日私幼連 総務委員会	米子みどり幼稚園長	東京
10	土			
11	日	建国記念の日		
12	月	振替休日		
13	火			
14	水			
15	木	幼稚園・認定こども園協会代表者会	理事長・園長・事務局	湯梨浜
16	金	中地私経協事務局長会議	事務局長	広島
17	土			
18	日			
19	月	中高部会 校長会	校長・事務局	倉吉
20	火	鳥取県地域訓練協議会及び鳥取県地域ジョブ・カード運営本部会議	専各部長	鳥取
21	水			
22	木	全専各連第126回理事会・全専協理事会合同会議	専各部長	東京
23	金			
24	土			
25	日			
26	月			
27	火	専修各種学校部会	理事長・校長・事務局	鳥取
28	水			

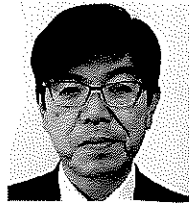
●事務局執務日・執務時間は(月～金)8:30～17:00です。
●私学会館にはお気軽にお立ち寄りください。
●ご意見やさまざまな情報をお寄せください。
〒680-0055 鳥取市戎町505-1
直通電話 (0857)29-4266 FAX(0857)26-1960



専修学校・
各種学校部会長
横井 司朗

専門職大学の
あたらしい課題

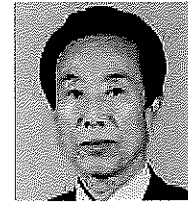
今年最大の関心事は、専門職大学・短期大学の動勢ではなかろうか?昨年末、最終的に文科省への申請は専門職大学13校、専門職短期大学3校にとどまった。残念ながら鳥取県から申請は出していない。確かに、設置基準は大学・短期大学より緩和されているが、完成年度まで運営費助成がない。既存の大学法人が設置する場合は、開校年度から運営費助成の対象となるなど、既存の大学法人が設置する方がリスクが少ない。既に、中教審大学部会では、既存の大学・短期大学の専門職学科設置基準改正の検討に入っている。一条校化運動が産み出した内なる敵は、既存の大学法人に飲み込まれてモンスターとなって専修・各種学校に襲いかかろうとしている。皆さんの英知を結集し、力を合わせてこの課題に立ち向かいたい。



幼稚園・認定
こども園部会長
波多野 和雄

少子化対策は
成功するか

昨年12月「新しい政策パッケージ」が閣議決定され、その中で3歳から5歳までの幼児教育に係る費用の無償化が明記され、2020年4月から全面的に実施することが示された。「幼児教育の無償化」となっているが、実際には「幼児教育・保育の無償化」になっている。幼児教育の場合は幼児期からの非認知能力の育成や子どもの貧困問題への対応、高い投資効果などの教育政策に主眼が置かれる。一方、保育の場合は子育て世代の費用負担軽減を図ることで少子化対策につながることに比重が置かれる。この度の政策パッケージは、社会保障の一環としての少子化対策であることが示されている。また「幼児教育・保育の質の向上も不可欠である」としているが具体的な内容を示していない。検討を期待したい。



中学校・
高等学校部会長
野田 修

新しい時代に
何を、どう学ぶか

新玉の春を迎え、中高部会関係者皆様には自校の入試も終わりホット一息と言ったところでしょうか。あとは3月6・7日の両日行われる県立高校の入試と、26日に発表される再募集結果が気になるところです。先日も文科省担当者のお話を伺ったのですが、急激な社会変化に対応すべく、社会に開かれた教育課程として学習指導要領が「何を学ぶか」「どのように学ぶか」という新しい時代への改定が検討されており、科目構成についても4分割の国語が現代国語と言語文化、外国語科がコミュニケーション1に、地理歴史が地理総合と歴史総合に、2分割の公民が公共に。さらに標準単位数においても改定案が示されており、中学校は33年度から・高校は34年度全面実施との説明を受けたところです。



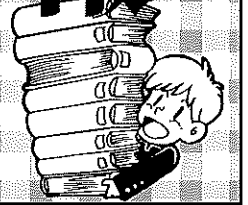
鳥取県私立学校
協会協会長
吉野 恭治

現代先取りの感覚の
重要性

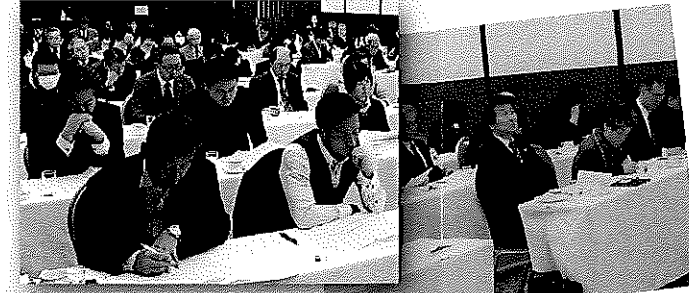
明けましておめでとうございませう。今頃新年の挨拶は遅いようですが、年内に新春号を発行する雑誌などとは違い、まともな挨拶となるといまの時期になります。はや冬季オリンピックの「北」の参加が話題的で、「北」の参加費用や旅費もすべて韓国が持つのか」という切実な韓国民の疑問もテレビで見ました。2018年はどんな年になるのでしょうか。学校関係にはそう明るいニュースはありませんし、期待過剰になってもいいけません。ただ時代を先取りするような鋭い感覚だけは磨いておかないと、学校は「明治も平成も同じ」ではもう生きられません。「二十四の瞳」の時代に学校はもう戻ることはいけません。先生と生徒の呼吸も変わります。今年は感度のいいアンテナを持っている1年にしたいものです。

協会長・部会長からの年頭の挨拶

鳥取県私立学校協会
私学協会月報



鳥取県私立学校協会
0857(29)4266
毎月1回1日発行
私学協会事務局発行



人生一〇〇年時代の
教育のありかた

さる1月15日、私学振興会と合同の研修会を開催しました。今回は内閣官房から伯井美徳氏を招いて、教育改革の最先端を走られている方から、新時代の教育への取り組みを聞く機会を持ちました。当日米子ANAホテルには70名を超える参加者が集い、熱心に耳をたたくました。同時に大学入試改革についてもいろいろと説明があり、関係深い学校からの参加者はより深く耳を傾けた次第でした。